



2020年3月期 第2四半期決算

(2019年10月31日発表)



株式会社 メディパルホールディングス

【将来の見通しに関する注意事項】

本資料には、メディパルグループの事業および展望などの将来の見通しに関する記述が含まれておりますが、いずれも、既存の情報や様々な動向についての現時点におけるメディパルグループによる分析を反映しています。実際の業績は、事業に及ぼすリスクや不確定な事柄により、現在の見通しと異なる可能性があります。



このたびの一連の台風により
被災された皆様ならびにそのご家族の皆様に
心よりお見舞い申し上げます。

被災地の一日も早い復興をお祈り申し上げます。



目次

1. 第2四半期の取組み

2. 第2四半期の業績

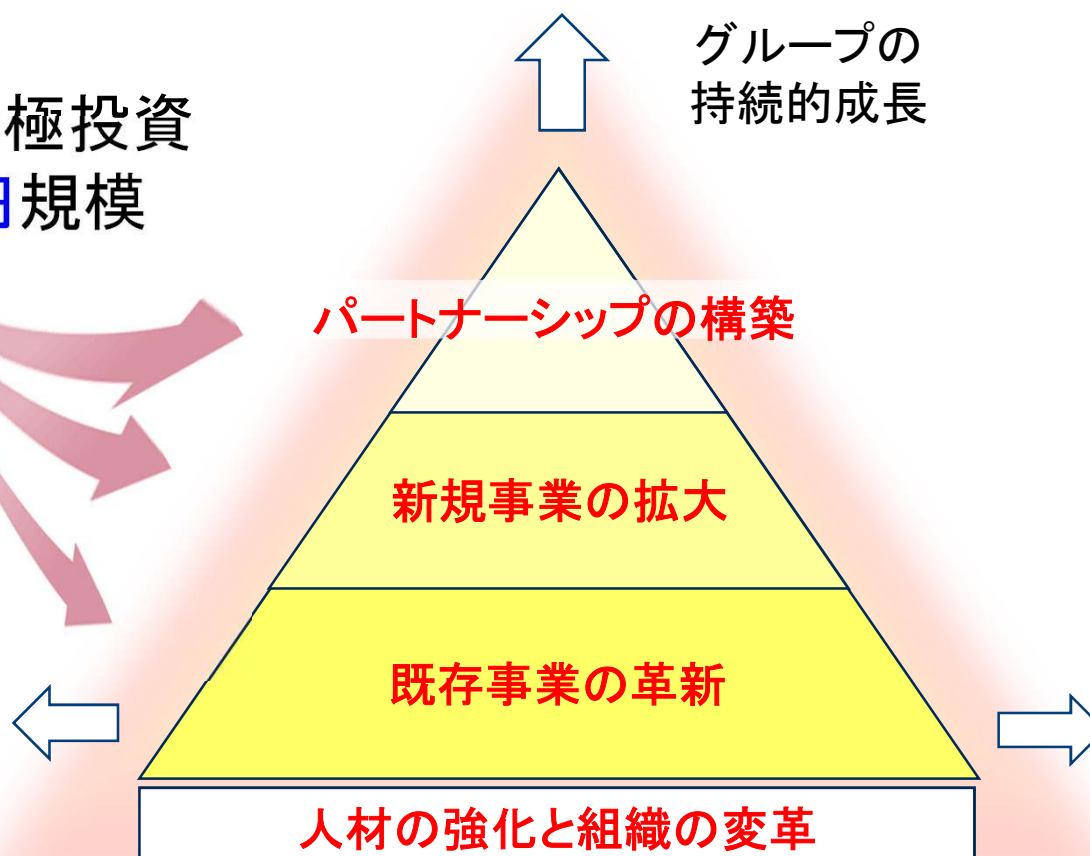
3. 2020年3月期 通期業績予想

4. 資本政策



「**Change the 卸 Future** — 未来への変革」が進む

将来への積極投資
1,000億円規模





将来への成長投資が着々と進む

パートナーシップの構築 & 新規事業の拡大

- ① デジタル戦略を通じたパートナーシップの構築
- ② JCRファーマとの取組み
- ③ ノーベルファーマとの取組み
- ④ ステミラック注の流通業務受託
- ⑤ プロメセラへの出資
- ⑥ 海外事業展開

既存事業の革新

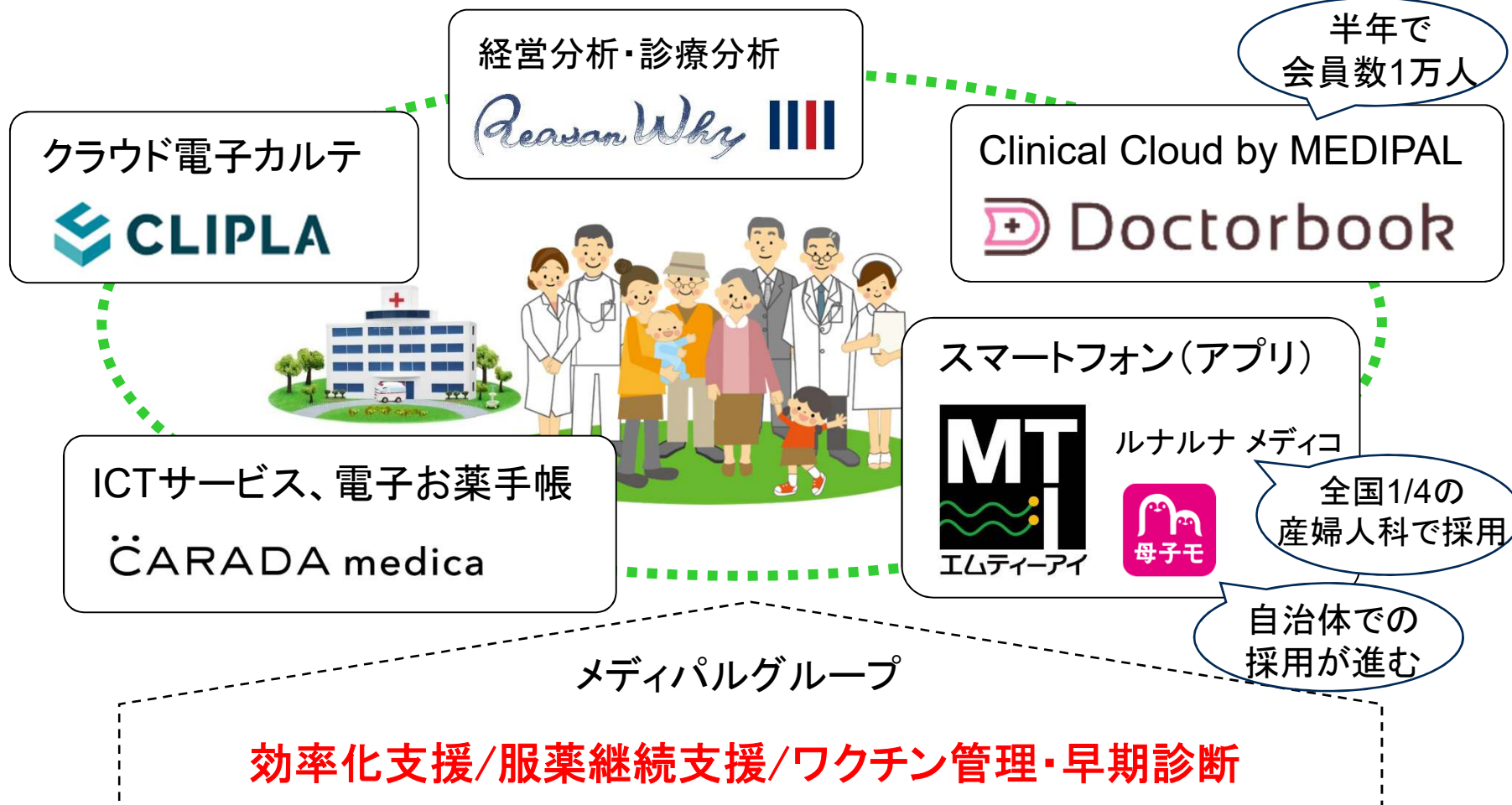
- ⑦ MR認定試験合格者が国内最大規模に
- ⑧ 三菱倉庫と業務提携(DPネットワークへの出資)
- ⑨ PALTACのRDC埼玉が竣工(11月稼働予定)

1. 第2四半期の取組み

① デジタル戦略を通じたパートナーシップの構築



ネットとリアルとの融合により、新たな市場を開拓



1. 第2四半期の取組み

② JCRファーマとの取組み

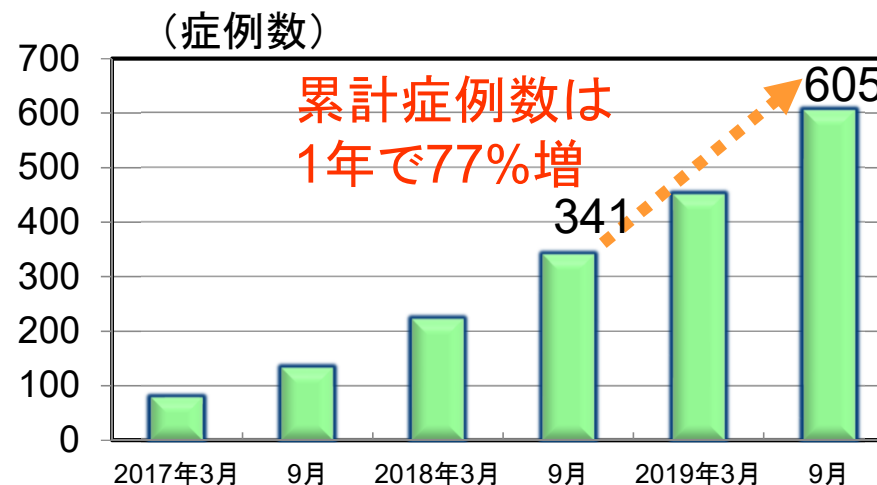


希少疾病用医薬品の開発・供給を全力サポート

テムセルHS注 ~JCRファーマ
適応症: 急性移植片対宿主病(急性GVHD)



日本初の他家由来
再生医療等製品



〈ハンター症候群治療薬(JR-141)の開発状況 (JCRファーマ資料より)〉

エリア	備考
日本	2018年3月、「先駆け審査指定制度」の対象品目に指定
米国	2018年10月、米国食品医薬品局よりオーファンドラッグに指定
ブラジル	2018年6月から、第Ⅱ相臨床試験を実施中
欧州	2019年2月、欧州医薬品庁よりオーファンドラッグに指定

1. 第2四半期の取組み

③ ノーベルファーマとの取組み

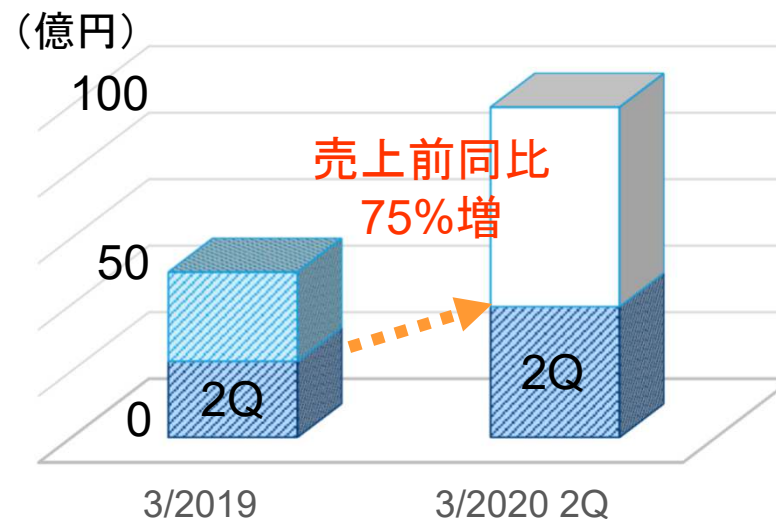


ARによる潜在ニーズの掘り起こしと新たな市場の創造

※AR(=Assist Representatives): MR認定試験合格者の社内呼称

ノベルジン錠 ~ノーベルファーマ

日本で唯一の低亜鉛血症治療薬



〈ノーベルファーマの今期の発売予定品目〉

承認日	販売名	効能・効果
2019年9月20日	リティンパ耳科用250 μ gセット (トラフェルミン)	鼓膜穿孔

※出典: PMDA 承認品目一覧(新医薬品: 令和元年9月)より抜粋



超低温輸送技術により、流通面から全力サポート

ステミラック注 ～ニプロ

一般的名称: ヒト(自己)骨髄由来間葉系幹細胞

適 応 症: 脊髄損傷に伴う神経症候及び機能障害の改善

脊髄損傷に対する
日本初の再生医療等製品

〈超低温輸送カート〉



1. 第2四半期の取組み

⑤ プロメセラへの出資(2019年3月開示)



日本における事業化を支援



代表取締役CEO: ジョン・チェリンジュリアン
所在地: ベルギー王国 モン・サン・ギベール市
設立: 2009年2月
事業内容: 肝臓疾患に関する再生医療技術を用いた
他家細胞医薬品の開発および製造



〈主要パイプライン〉

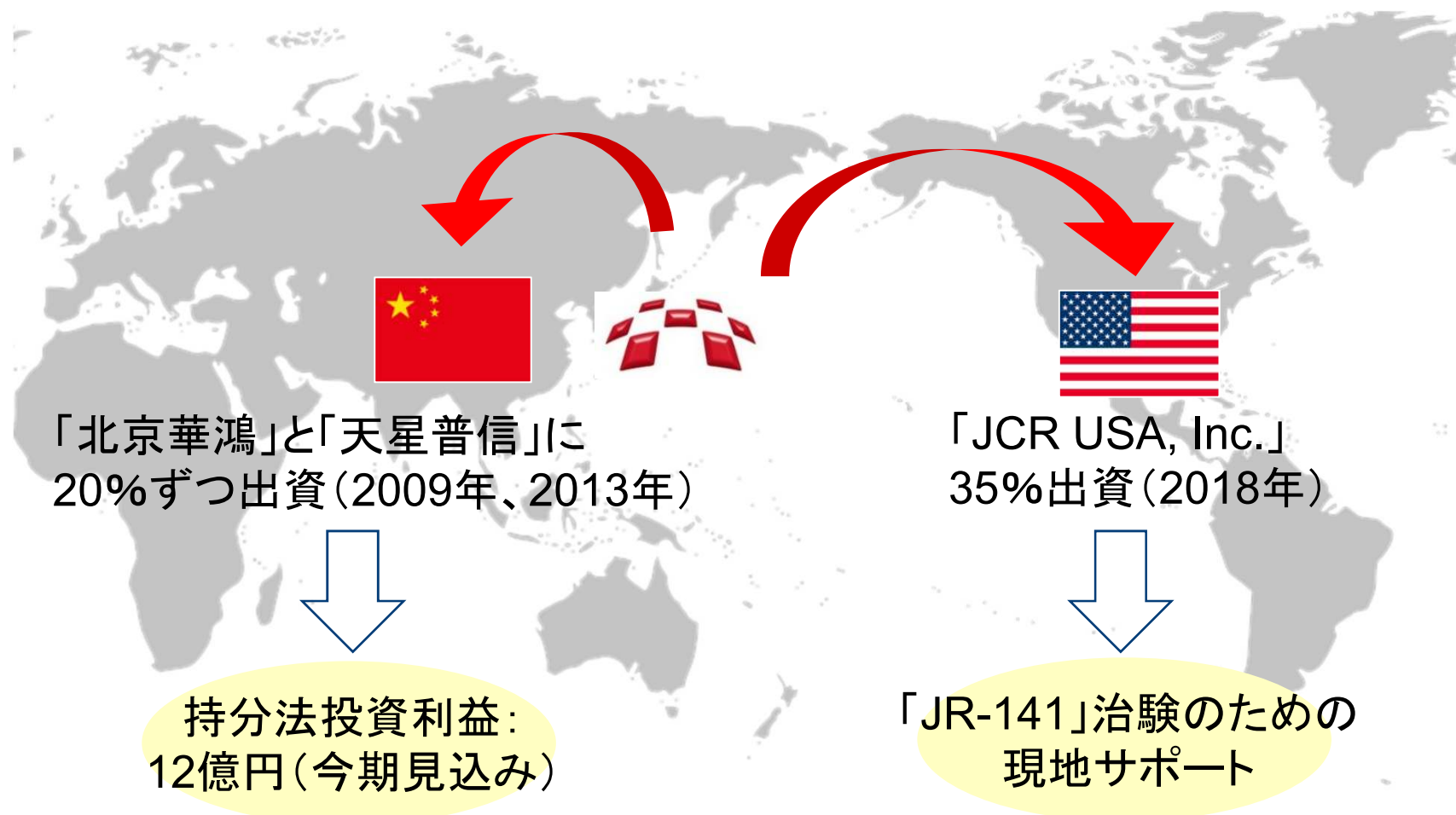
HepaStem(他家・肝臓由来間葉系幹細胞) ※ マイナス150°C以下で保管・輸送

- ・ACLF(慢性肝不全の急性憎悪) : 欧州 フェーズ II a 終了
- ・NASH(非アルコール性脂肪肝炎) : 欧州 フェーズ I / II a 開始
- ・UCD(尿素サイクル異常症) : 日本 治験準備中

⑥ 海外事業展開



中国投資はリターン(収益獲得)のステージへ
米国でもプロジェクト進行中



1. 第2四半期の取組み



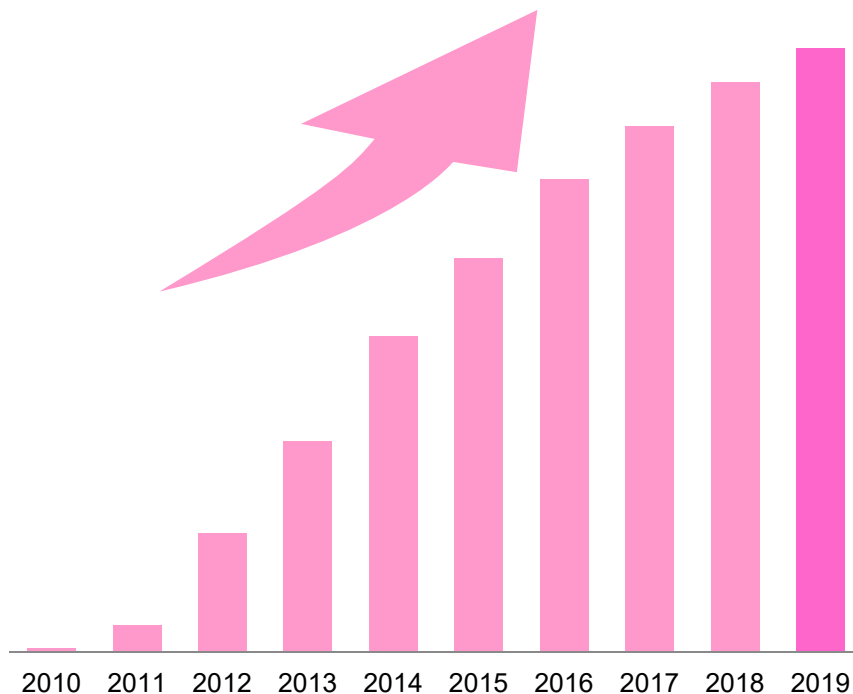
⑦ MR認定試験合格者数が国内最大規模に

規模と質の両面から、高度化・多様化するニーズにお応え

AR (MR認定試験合格者)

国内最大規模に

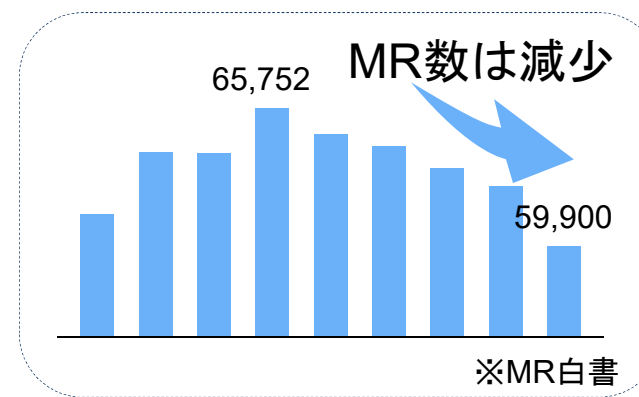
2,298 名



<メーカーMR数の上位5社>

	企業名	MR数
1	ファイザー	2,220
2	第一三共	2,200
2	武田薬品	2,200
4	アステラス	2,000
5	MSD	1,900

ミクス2019年6月号より抜粋

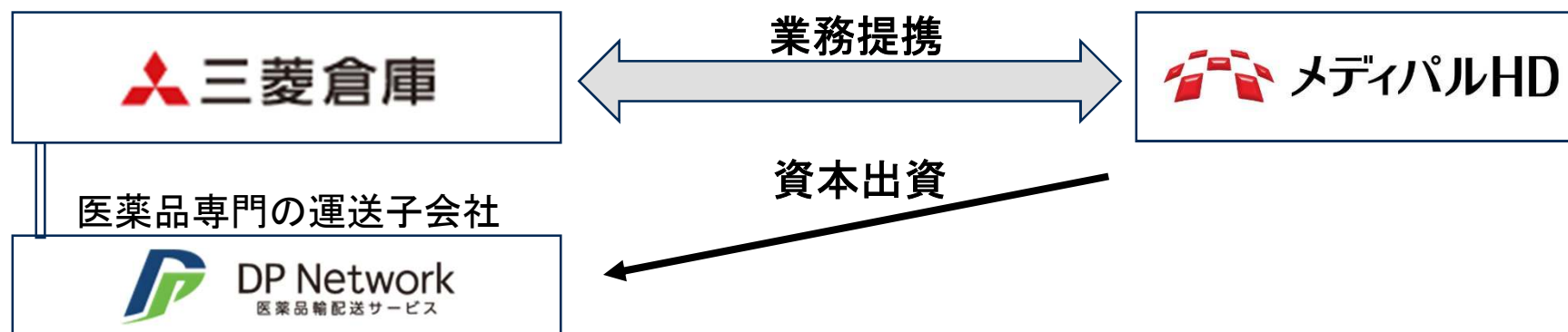


1. 第2四半期の取組み

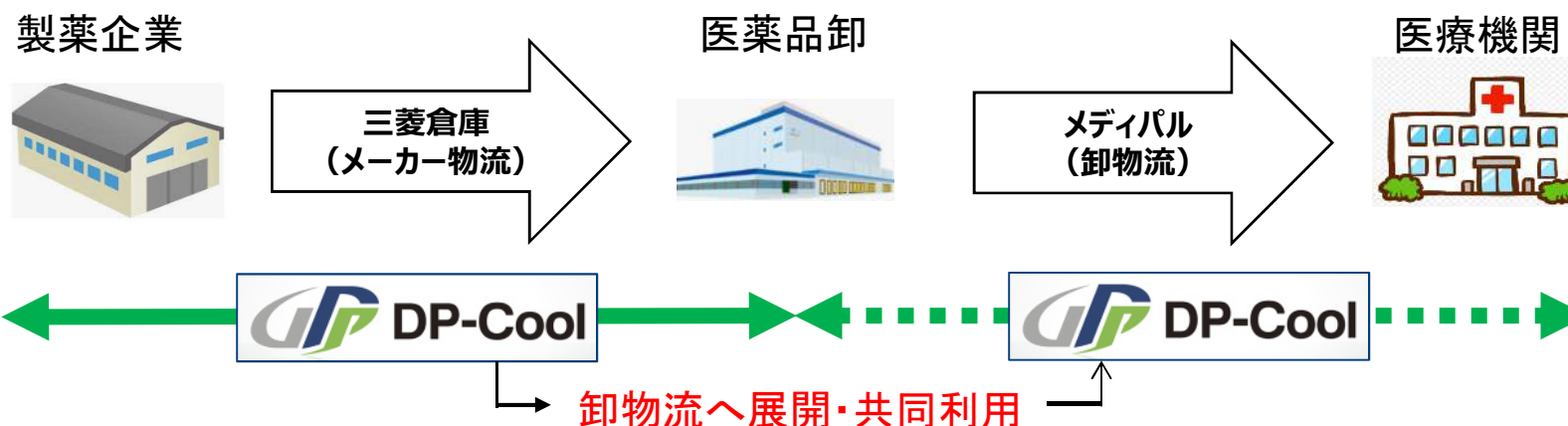
⑧ 三菱倉庫との業務提携および同子会社への出資(2019年8月開示)



製薬企業から患者さんまで
最適な医薬品流通体制の構築を目指す



DP-Cool (DPネットワークの高機能・高品質なコールドチェーン、PIC/S GDPガイドラインに準拠)



1. 第2四半期の取組み



⑨ PALTACの設備投資の状況(RDC埼玉 開設)

最大市場である首都圏において
生産性の高い新物流モデルを最大規模で展開

RDC埼玉稼働 (2019年11月予定)

《 特長 》



(注)1 RDC(Regional Distribution Center)化粧品・日用品を扱うPALTACの大型物流センター
2 市場規模(自社推計) 全体3.3兆円、うち首都圏1.1兆円と全体の1/3を占める最大市場

新物流モデルをRDC新潟の5倍の規模で展開

⇒ 当社最大規模の出荷能力(1,200億円/年)
新物流モデル第1弾 RDC新潟 出荷能力:250億円/年

庫内作業の生産性向上を深化

⇒ ロボット・AI等を活用した自動化エリア拡大により、
生産性向上と従業員の負担軽減を同時に実現

サプライチェーン全体を視野に入れた生産性向上に挑戦

⇒ 入荷エリアの自動化を推進し、配送業者様の
荷降し時間を削減(⇒ドライバーの待機時間減少)

《 2020年3月期 設備投資 》

	(通期計画)	(上期実績)
	195億円	38億円
■ RDC埼玉	159億円	12億円
■ センター用地取得 (栃木・大阪)	33億円	22億円



目次

1. 第2四半期の取組み

2. 第2四半期の業績

3. 2020年3月期 通期業績予想

4. 資本政策

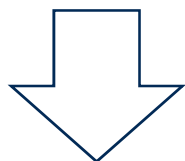


上期の連結業績は増収増益

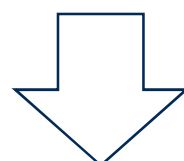
メディセオ事業
(増収増益)

PALTAC事業
(増収増益)

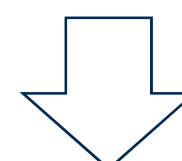
アグロ・フーズ事業
(増収増益)



- ・市場: 堅調に推移※
- ・生産性向上
- ・新規事業が貢献



- ・市場: 増税前の駆け込み需要
- ・取引先との取組み強化
- ・改善活動を継続



- ・市場: 堅調に推移
- ・事業戦略が進展

※ 医薬品市場成長率: プラス4.9%(4-9月、クレコンR&C速報値)

2. 第2四半期の業績

連結損益計算書



〈単位：億円〉

	2019年3月期 第2四半期 実績		2020年3月期 第2四半期					
			計画		実績			
	金額	売上比	金額	売上比	金額	売上比	前同比	計画比
売上高	15,832	-	16,380	-	16,548	-	+4.5%	+1.0%
売上総利益	1,147	7.25%	1,171	7.15%	1,194	7.22%	+4.1%	+2.0%
販管費	916	5.79%	930	5.68%	915	5.53%	-0.1%	-1.6%
営業利益	231	1.46%	241	1.47%	279	1.69%	+20.9%	+16.0%
経常利益	291	1.84%	306	1.87%	347	2.10%	+19.2%	+13.7%
親会社株主に 帰属する 四半期純利益	154	0.98%	148	0.90%	165	1.00%	+7.0%	+11.9%

2. 第2四半期の業績

医療用医薬品等卸売事業(メディセオ事業)の業績



〈単位:億円〉

	2019年3月期 第2四半期 実績		2020年3月期 第2四半期					
			計画		実績			
	金額	売上比	金額	売上比	金額	売上比	前同比	計画比
売上高	10,303	-	10,660	-	10,766	-	+4.5%	+1.0%
売上総利益	696	6.76%	708	6.64%	728	6.77%	+4.6%	+2.9%
販管費	613	5.95%	618	5.80%	601	5.58%	-2.0%	-2.7%
営業利益	83	0.81%	90	0.84%	127	1.19%	+53.7%	+42.0%
経常利益	131	1.27%	142	1.33%	184	1.72%	+40.9%	+30.2%
親会社株主に 帰属する 四半期純利益	85	0.83%	89	0.83%	106	0.99%	+25.0%	+19.4%

※妥結率:99.7%(金額ベース、9月末現在)〈2017年9月:97.4%〉

2. 第2四半期の業績

新規事業の拡大: 新規事業の実績と取組み状況



メディパル独自の取組みが業績に大きく貢献

新規事業の取組み実績	2020年3月期2Q 実績	2020年3月期 計画
AR活動	9億円(6社)	22億円(6社)
PFM®	17億円(9社23品目)	37億円(9社25品目)
使用成績調査(PMS)	2億円(5社8品目)	5億円(5社9品目)
PRESUS® 他	▲2億円	▲4億円
※ 新規事業実績 (売上総利益)	26億円	60億円

※当社グループの持つ全国のインフラおよび人材を活用して新たに取り組んでいる事業による売上総利益。関連商品の卸売販売による利益を含んでいます。

PFM® (Project Finance & Marketing)・・・医薬品等の開発投資と安定供給を組合せたビジネスモデル。

PMS (Post Marketing Surveillance)・・・医薬品の使用成績調査のことで、その受託事業。

PRESUS® (Pharmacy Real-time Support System)・・・調剤薬局向け経営サポートシステム。

2. 第2四半期の業績

化粧品・日用品、一般用医薬品卸売事業(PALTAC事業)の業績



〈単位:億円〉

	2019年3月期 第2四半期 実績		2020年3月期 第2四半期					
			計画		実績			
	金額	売上比	金額	売上比	金額	売上比	前同比	計画比
売上高	5,218	-	5,400	-	5,449	-	+4.4%	+0.9%
売上総利益	406	7.79%	418	7.74%	418	7.67%	+2.8%	+0.0%
販管費	269	5.16%	278	5.15%	280	5.14%	+4.1%	+0.8%
営業利益	137	2.63%	140	2.59%	137	2.53%	+0.3%	-1.6%
経常利益	150	2.88%	153	2.83%	151	2.78%	+0.7%	-1.1%
親会社株主に 帰属する 四半期純利益	※ 63	1.21%	52	0.96%	51	0.95%	-18.1%	-0.1%

※ 税効果会計分類変更による利益11億円を含む。

PALTAC株式の持分比率:50.13%



目次

1. 第2四半期の取組み

2. 第2四半期の業績

3. 2020年3月期 通期業績予想

4. 資本政策

3. 2020年3月期 通期業績予想



2020年3月期 連結業績予想

通期見通しに修正はありません。

〈単位:億円〉

	2019年3月期 連結業績	売上比	2020年3月期 連結業績予想	売上比	増減額	前期比
売上高	31,819	—	32,420	—	+601	+1.9%
売上総利益	2,325	7.31%	2,376	7.33%	+51	+2.2%
販管費	1,826	5.74%	1,866	5.76%	+40	+2.1%
営業利益	498	1.57%	510	1.57%	+12	+2.4%
経常利益	639	2.01%	650	2.00%	+11	+1.7%
親会社株主に 帰属する 当期純利益	343	1.08%	388	1.20%	+45	+12.9%
EPS	154.1円		179.6円		+25.5円	

※潜在株式調整後のEPS: 168.9円

3. 2020年3月期 通期業績予想



事業セグメント別の通期業績予想

通期見通しに修正はありません。

〈単位：億円〉

	2020年3月期 連結業績予想		メディセオ事業		PALTAC事業		アグロ・フーズ事業	
		(前期比) 売上比		(前期比) 売上比		(前期比) 売上比		(前期比) 売上比
売上高	32,420	(+1.9%)	21,270	(+1.1%)	10,500	(+3.4%)	687	(+3.8%)
売上総利益	2,376	(+2.2%) 7.33%	1,463	(+1.6%) 6.88%	823	(+3.3%) 7.84%	92	(+2.7%) 13.39%
販管費	1,866	(+2.1%) 5.76%	1,223	(+0.7%) 5.75%	573	(+5.6%) 5.46%	75	(+2.0%) 10.92%
営業利益	510	(+2.4%) 1.57%	240	(+6.9%) 1.13%	250	(-1.5%) 2.38%	17	(+5.7%) 2.47%
経常利益	650	(+1.7%) 2.00%	355	(+6.2%) 1.67%	275	(-3.6%) 2.62%	17	(+4.0%) 2.59%
親会社株主に 帰属する 当期純利益	388	(+12.9%) 1.20%	234	(+6.3%) 1.10%	133	(+19.6%) 1.27%	11	(+4.5%) 1.62%



目次

1. 第2四半期の取組み
2. 第2四半期の業績
3. 2020年3月期 通期業績予想
4. 資本政策

4. 資本政策



自己株式の取得(2019年9月)

【自己株式取得に関する方針】

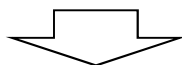
経営環境の変化に対応した機動的な資本政策のため、
財務状況、株価の動向等を勘案しながら適切に実施する。

〈2017年以降の自己株式の取得〉

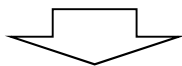
取得時期	取得株数	取得金額
2017年9月	153万株	29億円
2018年6月	244万株	60億円
2019年9月	1,250万株	281億円

〈経緯〉

武田薬品からのメディパル株式の売却意向(1,151万株、保有割合:5.18%)



公開買い付けによる自己株式の取得を実施



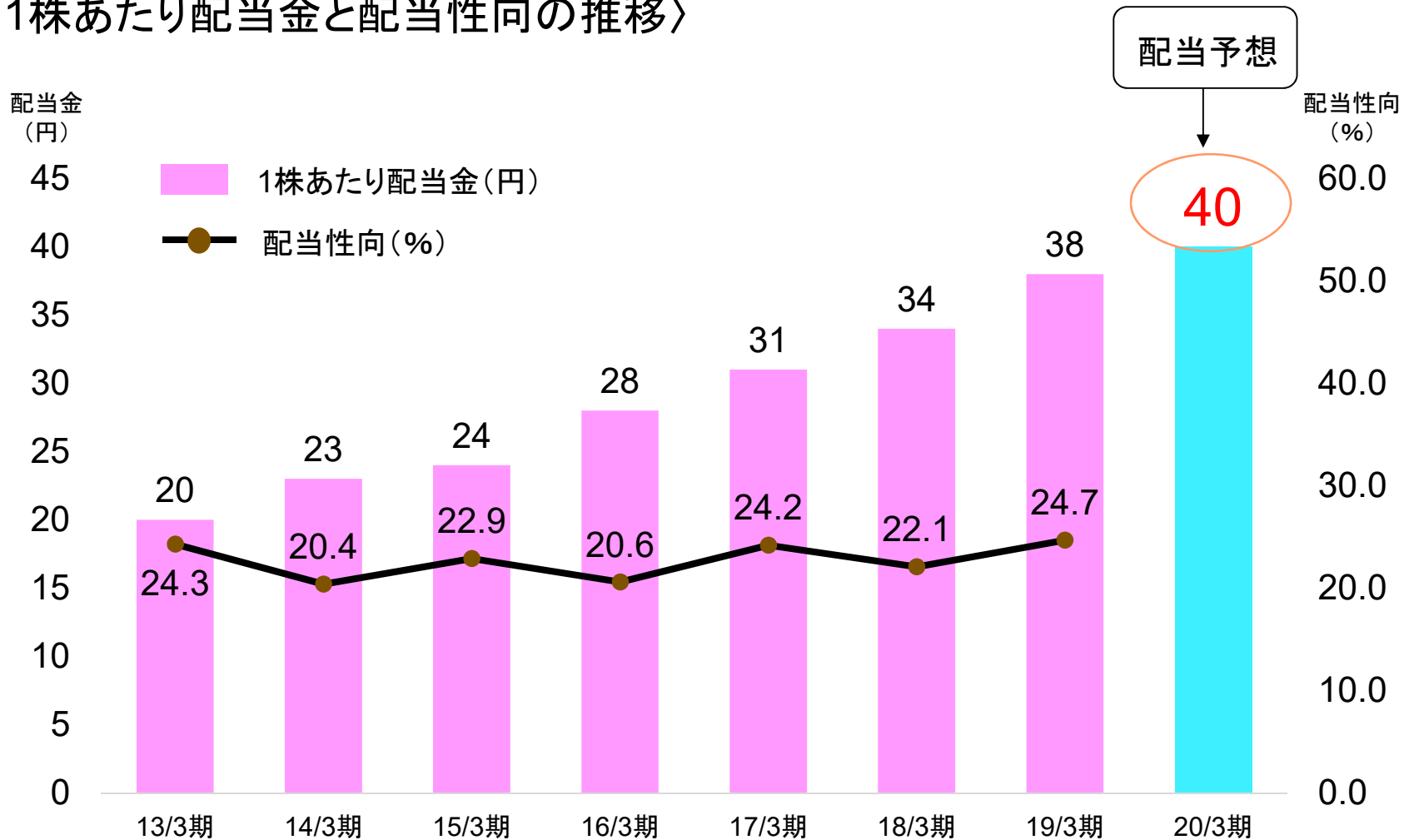
株式価値希薄化の影響を吸収

4. 資本政策

株主還元



〈1株あたり配当金と配当性向の推移〉





経営理念

流通価値の創造を通じて
人々の健康と社会の発展に貢献します。